

2016年6月16日

株式会社ディーエイチシー

～DHCのコラーゲン研究開発が世界の肌を変えていく～

**-特許取得- DHCの【新世代】コラーゲン
新TV-CM放映のお知らせ**

2016年6月16日（木）より全国でオンエア開始

株式会社ディーエイチシー（本社：東京都港区、代表取締役会長 兼CEO：吉田 嘉明、以下：DHC）は、2016年6月16日（木）より、特許を取得したDHCの新世代コラーゲンの新TV-CMを放映致します。

コラーゲンはたんぱく質の一種で、肌のハリが生まれる皮膚の真皮層の約70%を構成しています。真皮層の細胞は外側からコラーゲンを与えることで新しい肌コラーゲンを再生する特長を持つため、真皮層へコラーゲンを届けることができれば、肌を若々しく保てることがわかっています。従来はコラーゲンを真皮層まで浸透させることはできず、コラーゲン研究の永遠の課題とも言われていました。

今回DHCは、“常識があきらめたことはDHCがやれ”という使命のもと、真皮層まで到達するコラーゲンの開発に成功。世界で初めて肌コラーゲンの再生を実現する、DHCの新世代コラーゲンが誕生しました。DHCはこれからも誰にも追いつけない発明で、“世界の肌を変えていく。”ことを目指します。

■ TV-CM概要

【タイトル】 「DHC 新世代コラーゲン 研究開発篇」 (30秒)

【放送開始日】 2016年6月16日（木）

【放送地域】 全国 ※一部地域を除く

■ TV-CMストーリー

“常識があきらめたことは、DHCがやれ。”

無数に並んだボトルの先には、顕微鏡を覗く研究員がいます。

顕微鏡が映し出しているのは、“DHCの【新世代】コラーゲン”。

新世代コラーゲンはそのまま顕微鏡の下の肌断面図へ浸透していき、角層を通り抜け真皮層へ到達します。

そして、新世代コラーゲンの到達をきっかけに肌コラーゲンの再生に成功。

新世代コラーゲンによる「浸透」から「再生」までのイメージをCGで表現しています。

DHCはこれからも“世界の肌を変えていく。”ことを目指します。

**■ 本件に関するお問い合わせ ■**

株式会社ディーエイチシー 〒106-8571 東京都港区南麻布 2-7-1

TEL: 0120-333-906 24時間受付 年中無休（年末年始をのぞく）

■ CMカットデータ



参考資料

-特許取得- DHCの【新世代】コラーゲンについて

■これまでのコラーゲンは肌の奥深くまで浸透していなかった

肌のハリは、皮膚の内側にある真皮層と呼ばれる部分で生まれます。真皮層の約 70%はコラーゲンというたんぱく質で構成され、弾力のある網となって皮膚全体を支えています。加齢などでコラーゲンが不足すると、肌は支えを失い、シワやたるみを引き起こします。真皮層の細胞は、外側からコラーゲンを与えることで新しい肌コラーゲンを再生するという特長を持ちます。そのため、ハリのある若々しい肌を保つためには、真皮層へコラーゲンを届けることが非常に重要です。しかし、これまでのコラーゲンは分子が大きく、肌に浸透させることが困難でした。肌浸透を目指して低分子化した最新のコラーゲンペプチド（加水分解コラーゲン）ですら、わずか 0.02mm の厚さしかない肌の角層をほぼ通過できず、真皮層まで届くレベルでは到底なかったのです。

■角層を通り抜け、真皮層への到達を実現。

今から約 8 年前、DHC は真皮層まで浸透するコラーゲンの開発に着手。研究の末、DHC の新世代コラーゲンを開発し、特許を取得しました。一般的なコラーゲン（アミノ酸がいくつも連なっているコラーゲンの構成単位）とは異なり、角層を通過し真皮層へ到達する、世界最小クラスのコラーゲンペプチドです。

■世界で初めて、肌コラーゲンの再生に成功。最高純度 100%のコラーゲン

失われたハリを取り戻すためには、コラーゲンを浸透させるだけでは不十分です。肌に浸透したコラーゲンの純度が低ければ、真皮層の肌コラーゲンを再生することはできないのです。しかし、これまで最も進んでいると言われた通常のコラーゲンペプチド（加水分解コラーゲン）でさえも、純度は低く、有効成分の含有率はわずか 1.36%です。一方 DHC の新世代コラーゲンは、再生効果のある有効な部分だけで構成された最高純度 100%のコラーゲン。肌にとって無駄なものが一切含まれていないため、超乾燥肌・敏感肌にも安心して塗布できます。

以上